



昭和34年4月18日制定

あさひ

学校だより8・9月号
令和2年8月17日
横浜市立旭小学校

<旭小学校ホームページ> 随時更新しています。ぜひご覧ください。

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/asahi/index.cfm/1,html>



充実した教育活動をするために ～一部教科分担任制～

校長 高桑 透

梅雨明けが例年より遅くなりましたが、今年も暑い夏となりました。2週間の夏休みが終え、例年より早く学校が再開しました。教室のエアコンはフル稼働、窓を開けての学習活動は、決して環境が良いとは言えません。今年度の学校生活は、全てにおいていつもとは違うものとなっています。「新しい生活様式」としてスタートした学校生活は、今後もコロナウイルス感染症の動向とともに、創意工夫しながらすすめていくことになります。子どもたちの安全・安心のために、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

今年度も本校は、学校教育目標「あかるく さわやか ひとみきらきら あさひっ子」に向かって本校の子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様、教職員、旭小の子どもたちの成長を願う全ての皆様で『チーム旭』を構成させていただくこと、そして「コミュニケーションとチームワーク」を合言葉に1年間進めさせていただくことをお伝えしています。今年度は、新たな取り組みとして、学年での一部教科分担任制を、発達段階に合わせて導入します。

全職員で児童理解、児童指導に取り組み、児童が安心して過ごすことができるようになることを目指し、その第一歩として、一部教科分担任制により、学年の全ての教員で、学年の全ての児童を見ていく仕組みを作ります。児童は、相手や場面、状況に応じて様々な表情を見せます。多くの教職員と日常的に接することで、児童がもつ様々な表情、よさや困り感を引き出すことができ、より深い児童理解につながります。また、複数の教員で多面的に児童を見ることにより、それぞれの児童の良さを見つける機会も増えます。児童の側からすれば、相談できる教員が増えること、自分を認めてもらえる機会が増えることも大きなメリットとなります。

また、思春期を迎える高学年児童においては、より多くの教員と接して人間関係を広げる中で心の安定を図り、学びを深めながら、それぞれの個性や能力を伸ばしていくことも大切です。

さらに、一部教科分担任制を取り入れることで、担当教科を絞って専門性を生かした授業を展開していくことは、教材研究の効率化を生み出し、授業改善にもつながります。

この一部教科分担任制は、子どもたちの発達段階に応じて導入します。低学年のうちは、学級担任との関係性をしっかり築き、安心して学校生活を送ることが大切です。全教科を担当が指導するという基本的なことは継続させながらも、学習内容により指導者が交代したり、クラスの枠を越えて指導したりするなどの工夫をします。学年の全ての教員が、学年の全ての児童を見ていく視点で、取り組んでいきます。

『チーム旭』の考えを元に、『チーム〇年』という発想で、子どもたちの成長のために取り組んでいきます。保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

9月の取組目標

生活目標

保健目標

清掃目標

給食目標

規則正しい生活をしよう

校舎のまわりをきれいにしよう

協力して食事の場をつくろう

<総合防災訓練> 9/1

今年度の引き取り下校訓練は、総合防災訓練と合わせて、メール配信での実施といたします。詳しくは本日配布したプリントをご確認ください。

<地区班安全学習> 9/23

当日は地区班での下校となります。学童やキッズクラブに行く児童は、地区班ごとの下校は行いませんので、一緒に下校することのないよう、お子さんに確認しておいてください。